東京学芸大学教職大学院同窓会 活動報告

1. 総会

設立総会(第1回定期総会)2015(平成27)年2月22日(日)

同窓会設立準備会長(成田喜一郎)、同副会長(永田繁雄)、作業部会長(近藤精一)、 作業部会学生委員(浦瀬慎也 杉本龍 宮内瞳 矢口弘士 伊東浩明 黄俐嘉 小林友加里 杉本真澄)の皆さんによって準備が行われた。

第2回定期総会・講演会 2016 (平成28) 年2月21日 (日)

〈議長 川元泰史(1期) 書記 高道有美子(1期)〉

講演 小林正幸先生 「臨床の場に現れる今の子どもを理解する」

第3回定期総会・講演会 2017 (平成29) 年2月19日 (日)

〈議長 瀧口信晴(1期) 書記 横澤康子(1期)〉

講演 佐藤郡衛先生(目白大学)

「グローバル時代の学校教育の課題~教員養成と関連づけて」

第4回定期総会・講演会 2018 (平成30)年2月18日 (日)

〈議長 滋野卓也(3期) 書記 矢口弘士(6期)〉

講演 三石初雄先生(帝京大学教職大学院)「教職大学院での教師教育を考える」

第5回定期総会・記念企画 2019年2月17日日曜日

〈議長 森口美佳(4期) 書記 根岸陽月(7期)〉

10周年記念企画『教職大学院10年を振り返って』

10周年記念ラウンドテーブル「子どもを見つめる教師の学び」

2. 会長、幹事長

会 長 金子陽子(1期 2015~2018)鈴木 稔(2期 2019~現在) 幹事長 俵 元希(4期 2015~2016)安東奈々(6期 2017~現在) 小林祐一(2期 2019~現在)

3. 研修会(小金井フォーラム)

第1回小金井フォーラム 2015年7月26日土曜日

「通常学級における特別支援教育について」 :講師 伊藤良子先生

第2回小金井フォーラム 2016年7月23日土曜日

「教科化時代の道徳教育をどうすすめるか」 : 講師 永田繁雄先生

第3回小金井フォーラム 2017年8月26日土曜日

「人材育成研究の最前線:人材開発7つのポイント」: 講師 中原淳先生(東京大学)

第4回小金井フォーラム 2018年7月21日土曜日

「学校における働き方改革のさきにあるもの」 :講師 妹尾昌俊先生(教育研究家)

第5回小金井フォーラム 2018年7月27日土曜日

「カラフルな学校づくり~一人ひとりが輝く『しかけ』とは」:

住田昌治先生(横浜市立日枝小学校長)

第5回定期総会における10周年記念ラウンドテーブル 「子どもを見つめる教師の学び」の記録

例年、定期総会では、教職大学院ゆかりの先生(第2回小林正幸、第3回佐藤郡衛、第4回三石初雄の各先生)にご講演いただいて学びの機会としてきました。今回は、教職大学院10周年にあたり、「同窓生が教職大学院での学びを現場での実践にどのように生かしているのか、深めているのか、また新たな問いは何なのか」というようなことを話し合うことができたらいいのではないか、と研修部で検討しラウンドテーブルを行いました。

○**実施内容**: 1 テーブル 3 ~ 4 人で、話題提供者のテーマに沿って話し合いました。まずは、話題提供者のお話をじっくり「傾聴」し、その後、同じテーブルの方同士で、内容を深めました。最後に、各グループからの報告・ギャラリーウォークを行い、各自リフレクションしました。

○話題提供者: 《テーマ》

①土屋和弘さん: 自己肯定感、生活指導

②鈴木稔さん: どうする?!学級崩壊 ~リアルともがきと~

③山岸勘人さん: 教員同士の協働(学年の連携)

④吉田松寿さん: 人材育成について

⑤増田謙太郎さん・高橋澪さん: 体験活動を通した人間育成

⑥安東奈々さん: 教科指導について

⑦紅谷昌元さん: 理想の学校

⑧村上聡恵さん: 校内研究について⑨糟谷侑里さん・中村朱里さん: リフレクション

⑩宮崎亜希絵さん: 学校評価の理想と現実













第5回小金井フォーラム夏季研修会の報告 「つながる・つづける学びの世界へようこそ」

日時:2019年7月27日(土)13:30~17:00

場所:東京学芸大学教職大学院 講義室

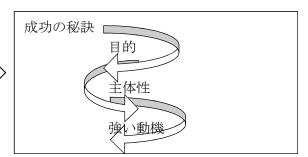
第 I 部 講演 「カラフルな学校づくり 〜教職員一人ひとりが輝く「しかけ」とは〜」 講師 横浜市立日枝小学校 校長 住田昌治先生

1. 元気な学校を増やすために「働き方改革に実感はあるか?」

・「働き方改革」が進まないのは 目的がない

↓
主体性につながらない

実感につながらない



それぞれの人の Well - Being を考える必要がある。

これが持続可能な学校につながる。

※世界保健機関 (WHO) は 1946 年、「健康とは、単に病気あるいは虚弱でないというだけでなく、肉体的、精神的、社会的完全に良好な状態 (Well-Being) である」と定義しています。

<Well - Being の構成要素>

Work ・・・ 仕事,作業

Housing · · · 住居

Family Life ・・・家庭生活、安定した家族生活

Social participation · · · 社会参加

Leisure・・・レジャー

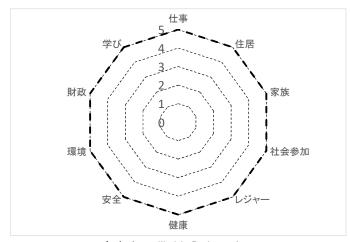
Heath ・・・心身の健康、状態、健康に良い

Security · · · 安全、無事

Environment ・・・環境、周囲の状況

Financial・・・財務上の、財政上の

Learning・・・学ぶこと、知識、学問



あなたのWell-Beingは?

- 2. 苦手なことを得意な人が埋めてくれるような職員集団に。
 - →これを実現するために大切なのは、職員間の対話をいかに生み出すか。 ストレスにつながらないためにも、言いたいことを言える関係性をつくる<u>リーダーシップ</u>が 必要。

みんなを幸せにするリーダーシップ(サーバントリーダーシップの考え方)

人のせいにしない。任せる。モチベーションを高める。

いつも笑顔でいる。

※住田先生の校長室で行われている職員のプロジェクトが紹介されました。

3. 新しいことをすることが難しい学校でどうするか? 講演会等で聞いたことを自分がコントロールできる範囲でやる→学校で浸透させる 4. 世界の中で見る、日本の教育現場 ※アンドレアス・シュライヒャー OECD 教育・スキル局長の話を紹介 事務作業が多く、授業準備等の時間が少ない。 もっと子どもや教職員がかかわる時間が大切。

第Ⅱ部 参会者によるワークショップ

「チーム学校」の力を高めるために、自分自身ができることを考える 「カラフルな学校づくりを実現するには?」



9 グループに分かれて行った「カラフルな学校づくり」についての話合いでは、「部活動を手放す」「会議の方法を見直す」「行事への取組の見直し」等具体策が出ました。

中でも印象深かったのは、住田先生の講演の中にあった「苦手なことを得意な人が埋めてくれるような職員集団にするには」ということを基にした話し合いでした。

「得意なことが偏っている集団の場合はどうするのか?」「一部の人に仕事が偏るのではないか?」 「管理職に課題がある場合は?」等、お互いに「あるある」とうなずきながら、具体的な事例を出し合いました。

~第5回小金井フォーラムを終えて~

今年度も修了生だけでなく現役生も参加した小金井フォーラム。働き方改革が進まない要因、教職員 一人一人が得意なことを生かしながら、生き生きとカラフルな学校づくりに参画していける秘訣につい て、校長としての住田先生の実践を交えながら具体的に伺うことができました。

「新しいことをすることが難しい学校をどうするか?」という問いについて、「自分ができる範囲でやって、学校に浸透させる」というのはその通りだと思います。ESDや SDGs等、地球規模で「持続可能な社会の実現」を考える時代が来ました。教育現場でも「持続可能であるのか?」を考えながら、教育の本質を見失うことなく、実践をしていく必要があると考えた会となりました。

(文責:8期 村上聡恵・依田真紀)